

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	おきなわインターナショナルデイサービス銘苅		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 1日	～	令和 8年 3月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 1日	～	令和 8年 3月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 3月 1日	～	令和 8年 3月 17日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2か所	(回答者数) 2か所
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、ご家庭、事業所等と連携して児童の特性に合わせた支援を行い、児童が困っている場面を観察し支援できる体制を整えている点。 ・ご家族とも向き合いながら支援の方向性を決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自身の視点で物事を考え、困り感を共有する為、日々会議や声掛け等を行い、全ての支援者が同じ方向性をもって支援できるように取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等での出来事を振り返り、ご家庭や学校等の先生等へアプローチを行います。 ・振り返りの際に困り感等があれば、再度観察を試み方向性を整えてまいります。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童のアセスメントを適切に行うことで、課題を客観的に分析し、職員全体で会議をしながら充実を図っている点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に児童の事に対して、不明な点や困り感があれば職員間で共有し、よりよい支援につながるよう取り組むことができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、小学校や保育園などと会議を持つことで、保護者だけではなく小学校や保育園の先生と情報共有を図り、児童が安心して学校生活を過ごす事ができるよう支援します。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の職員がいる点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童指導員や保育士、理学療法士等、様々な経験やキャリア、職種の職員が在籍しています。 ・様々な視点で療育に携わることが出来ています。 ・多角的視点から意見を共有することが出来ています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な視点からアイデアや意見等を出し合い、児童一人一人に合わせた支援が出来るよう取り組みます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援を開始したばかりという点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆様が保育所等訪問支援事業をご存じない方が複数ありました。 ・学校や保育園等での困り感を、事業所と保護者間での共有不足している点があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援の周知を強化することで、ニーズがある児童の保護者に向けてサービス内容を説明し、サービス利用を繋げます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会が無い事で保護者間の共有する悩みや知り合いの輪を広げるといった事が少ない点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や交流会の時間確保が不足しています。 ・事業所側からの声掛けが未実施でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や交流会の希望を募り、定期的に交流できる機会を設けることができるよう取り組んでまいります。 ・事業所主催だけでなく、地域のペアレント・トレーニング等のセミナーが開催された際は保護者の皆様へ周知を行います。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所職員の間で、保育所等訪問支援の理解や周知が進んでいない点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援について理解度の差があります。 ・具体的な訪問内容や支援内容、どういった場面で必要なサービスなのか、ニーズの収集方法にも職員間で差が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で実際にどのようなサービスなのか、なぜ必要としている児童や保護者がいるのか周知や研修等を通して、理解を深めます。 ・職員育成や体制を整えることで、地域の保育所等訪問支援にニーズを充足できるよう取り組みます。